

# 平成27年度「きのさき見て歩き」第2回開催しました

6月5日（金）「きのさき見て歩き」第2回「文学碑めぐり」を開催し、城崎を訪れた文人墨客の足跡をたどりました。

ふだん歩いていながら気付かなかった碑に目をとめたり、文学碑建立のエピソードを聞いたりと城崎の魅力を再発見したひとときでした。

町を歩きながら講師の坂田文一郎先生が、北但大震災当時の壊滅的な街並みの写真と現在の街並みとを同じ場所から見せてくださり、また復興していく町の様子を聞かせてくださったりして、復興にかける城崎の人々の思いを感じた時でもありました。



東山公園、柴野栗山（江戸時代朱子学者）



白鳥省吾（地藏湯前）



富田 碎花（柳湯）



与謝野鉄幹・晶子（一の湯）



野口 雨情（木屋町通）



志賀 直哉（城崎文芸館）



島崎 藤村（JR 城崎温泉駅前）



島崎藤村が城崎を訪れたのは北但大震災（大正14年）後の昭和2年、紀行文「山陰土産」には、一時は全滅と伝えられた町のあちこちで家が新築され、新しい木の香りがし、木を削るかんなの音が聞こえてくる復興の様子が描かれています。

トライやる・ウィーク中の中学生が文学碑の前で、復興の様子などが描かれた場面を朗読してくれました。